

令和8年7月9日

湖西市長 田内 浩之 様
湖西市教育長 松山 淳 様

湖西市議会
議長 馬場 衛

湖西市立小中学校再編に関する申入書

急激な少子化を見据え、教育委員会は令和3年度に「学校教育施設適正化検討委員会」を設置し、令和5年度には「湖西市立小中学校再編方針」を決定するなど、いろいろな議論を積み重ね、市内2地区で段階的に学校再編の検討を進めてきた。また、議会としても、これまで教育委員会から進捗状況等の説明を随時受け、その経過を見守ってきたところである。

そうした中、令和8年3月に再編検討結果報告書がまとめられた白須賀地区の状況を把握するため、福祉教育委員会では6月に白須賀地区学校再編検討委員（一部）との意見交換を行い、これまでの説明と理解が十分でないことにより、再編の方向性や今後の見通しについて不安を感じている方がいることを確認している。

今年度の早い時期に再編の方向性が示される、白須賀地区の小中学校再編については、「総合的に判断する」としているものの、何をもって総合的に判断するのか、その判断に必要な要素や比較検討の内容も十分に示されていない。行政に重要な判断基準の透明性と方針・説明内容の一貫性を欠くようであれば、行政や教育委員会に対する信頼を損なうことになることを懸念している。

小中学校の再編は、白須賀地区のみならず、湖西市の未来を担う全ての児童生徒にとって、より良い教育環境を整えるための重要な事項である。また、学校は地域にとって大きな存在であるが、その方向性については、当該地区の住民に限らず、市民全体の理解と納得を得ながら進める必要がある。

よって、議会として、次のとおり申し入れる。

- 1 議会とのこれまでの議論とその経過を踏まえつつ、人口減少・将来的な財政負担・公共施設の選択と集中の考えの下、未来ある湖西市の子どもたちにとって、より良い教育環境につながるための判断・選択をすること。
- 2 学校再編（白須賀地区）の方向性の判断をする上で、総合的との表現にとどまらず、多角的な判断をするための項目と、それぞれの優劣を比較したものを示し、判断に至る根拠や理由について市民誰もが理解できるようにすること。
- 3 湖西市の教育行政が信頼され続けるために、湖西市全体の学校教育のあり方を示し、丁寧な情報提供の場を作り、市民・関係者の理解を得るように努めること。